

校内研修でICT活用を拡げる



授業研究OJT



三重県教育委員会事務局研修分野
(総合教育センター)
研修支援室 OJT支援グループ
中村 武弘

各班の課題

- A: ICT活用を校内で広めるには？
- B: ICT活用を校内で広めるには？
- C: ICT活用の効果を見極めたい！
- D: ICT活用の効果を見極めたい！
- E: 情報教育のカリキュラムを作るには？
- F: 教科で情報教育を実践するには？

<強み>

- 組織をベースに考えよう
- マトリックスで目標と手法を明確に
- メリットをイメージで魅せていく
- ミニ研修会(職員室がいい)

<弱み>

- ・ 金校長先生が、椅子から立てない
- ・ Macがないとだめ(笑い)
- ・ 導入と捨てるものも提案しよう

- A班: ICT活用を校内で広めるには？
松下(フロ・MIMIO)

<強み> 問題は人づくり

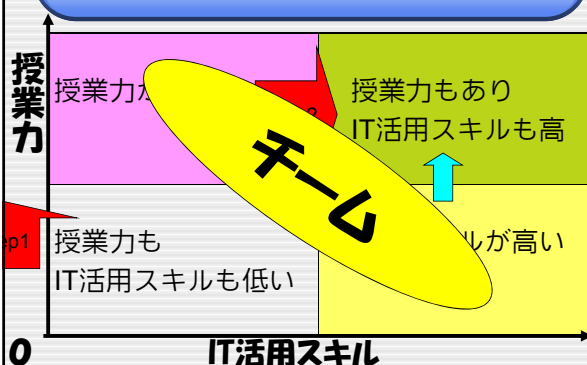
- 演劇風個人的に大好きです
- 先生のタイプに合わせて研修
- 目的に合わせた研修タイプ
- 企業さんのサポートあり(研修)
- これは持って帰りたいプランだ！
- 明確なビジョンがある

<弱み>

- ・ できる学校がかぎられる？

光村図書

ICTの授業活用への道



<強み>

- 授業からはいれる
- ベテラン先生をうまく巻き込む
- 子どもから出発して教員全員で
- 長所と短所をうまくリストアップ
- 苦手な人を巻き込む手法
- 具体的な授業で見せる
- 授業を評価する

<弱み>

- ・ mimioがないところは？
- ・ 授業がへた、子どもに助けられた

<強み>
 ○先生のレベルに(できると思わせる)
 ○子どもから出発
 ○改善が見られる(前→after)
 ○教科と歩みを合わせる(テキスト)
 <弱み>
 ・高橋さん昨日は誰と飲んだの?
 ・なんだスキルのカリキュラム?
 ・IT操作目標でなく、どんな力をつけた
 いかで記述(長い文章を書く、でなく何
 を書くか)

<強み>
 ○ターゲットを明確にしたこと
 ○みんなを巻き込む
 ○授業を魅せる(3パターン)
 ○先生に考えさせる
 ○模擬授業(いいわけがリアル)
 <弱み>
 ・カシオがない(オートを切る)
 <ポイント>
 ・使いなさいではだめ、お願いする

<強み>
 ○初々しさがいいですね。
 ○チームワークです。
 ○地域教材への挑戦
 ○
 <弱み>
 ・大きさ比べてどうするの、何を学ばせ
 るのか?何の大きさ(図法、球面など)
 ・地図帳を拡大して「色について」気づ
 いたことを話させるとか
 ・アビオさんの良さをもっとだす!

各班の課題

- G:教科で情報教育を実践するには?
- H:教科で情報教育を実践するには?
- I:教科で情報教育を実践するには?
- J:学校の情報公開をICTで促進したい!
- K:気をつけたい著作権・個人情報?
- L:校務の情報化を進めるには?



笑顔で授業を語る!

● G:教科で情報教育を実践するには?
ウチダ(電子黒板)




どうだ!このプラン!

● H:教科で情報教育を実践するには?
エバン



はじめに:言いたいことまとめ

- **教育普及のためには！(共通理解)**
 - 学校内で活動が大切
 - 学校内の共通理解が必要
 - 管理職の理解が大切
- **お題目だけではだめ！(ツール)**
 - 具体的なチェックのためのツール活用
 - 共通理解のための研修手法の利用
 - 授業で教育課題を解決する姿勢



共通理解が子どもを変える

〇〇学校がうまくいっているワケ

- ① 全員が子どもの方を向いている
- ② 管理職がうまく職員へ権限委譲
(全員が意見を言える風土)
★みんなが納得して動ける、全員がやる
- ③ 継続は力なり(地道に授業研究)


校内研修のポイント

- ① 子どもの姿から出発している
(具体的な姿から課題を)
- ② 具体的な活動目標へつなげる
(全員が行動できるように情報の共有)
- ③ ちょっとしたツール
(ワークショップを取り入れる)
「話し合いましょう」だけではだめ、考えを助けるツールが必要

仲間作業が大切!

- ・みんなで作るための仕組み(仕掛け)が大切
管理職との対話
他の人に任せる工夫

学力保障は、IT活用から!

- 見せればわかる(強み)
 - ・地道なことをコツコツ(基礎基本の向上)
- 
- ・無理矢理でなく(子どもの気持ち)
 - ・一部の教師でなく(教員全員で) 2004.11.08

ちょっとした活用で授業が輝く

- ① 簡単: プロジェクターで楽々拡大
- ② 活用: Web上のコンテンツを利用(他人の輝)
- ③ 融合: ITをちょこっと使う
デジタルとアナログ(従来型)の授業の組み合わせ

共通理解が生徒を変える ドンソコ高等学校の例

授業研究のビデオを配信！

ITを便利に使う！

いつでもどこでも見ること
& 見せることができる

A 高校の授業の反省会より

「授業が楽しい！」

- ① 子どもの変化こそが研修の成果
(指標は子ども！)
- ② 管理職の姿勢: みんなをやる気に!
組織としての教育力 (場の準備)
- ③ 継続は力なり (研修の良さ)

高校の授業の基礎

★英語は実技である(繰り返す、授業の最初と最後に同じことをする！それでこの時間どんなに伸びたのか生徒がわかる。兎に角、寝させない。

研修がうまくいっているアイテム

- ① お菓子&飲み物
(和やかに、うどんパーティー)
- ② 仲間づくり、失敗しても凹まない
(全員が意見を言える風土)
- ③ ちょっとしたツール
(学校経営品質の考え方)
「頑張りなさい」だけではだめ、考えを助けるツールが必要

美味しい！研修には食べ物

● L: 校務の情報化を進めるには?
インフィニテック

研修のポイント3つのC

- コンセンサス
- コミュニケーション
- チャレンジ・ザ授業

各班の皆さんへ

- 問題点は何か？
- 共通点は？
(同じような悩み)
- 今回の2日でできること
- 将来解決したいこと

	すぐできる	年間を通した らできる	将来でき る
なくても できる	ここが 大切!		
ツール			
同意形成 (校内)			